

いま注目の
観光スポット！

夜間の
観音埼灯台

古くから海を守
り続けています

灯台の上からは
潮風が気持ちいいです

圧倒される美しい眺め☆

一面の海と
行き交う船が見渡せます
のぼってみる価値アリ！



灯台へのアクセス



☆鉄道・バス等

- ・京浜急行電鉄浦賀駅下車
浦賀駅～（京浜急行バス浦賀線）～観音崎下車
（約20分）、徒歩約10分
- ・横須賀駅～（京浜急行バス市内線）～観音崎下車
（約40分）、徒歩約10分

☆自動車

- ・横浜横須賀道路馬堀海岸IC～国道16号経由
約5分 徒歩5分



★参観寄付金 300円（中学生以上）

ただし、小学生以下及び障がい者（介助の方1人まで）
の方はいただきません。

★参観時間

3～9月 平日 9:00～16:30 土日等 8:30～17:00

10～2月 平日 9:00～16:00 土日等 8:30～16:00

（土日等：土、日、祝日、GW、8/10～8/19）

★問い合わせ先

〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居 4-1187

公益社団法人燈光会 観音埼支所

TEL：046-841-0311（FAX 兼用）

参観状況は下記のHPにてご確認ください。

悪天候時は灯台にのぼれない場合がございます。

ご了承ください。 <https://www.tokokai.org/>



～日本の西洋灯台の歴史は
ここから始まりました～

かんのんさきとうだい
観音埼灯台

のぼれる灯台16のひとつ

初代観音埼灯台の模型

今とは全く異なっています

日本の灯台のバイオニア ヴェ

灯台の歴史を分かりやすく紹介しています



灯台って奥が深いんです...!

「灯台資料展示室」

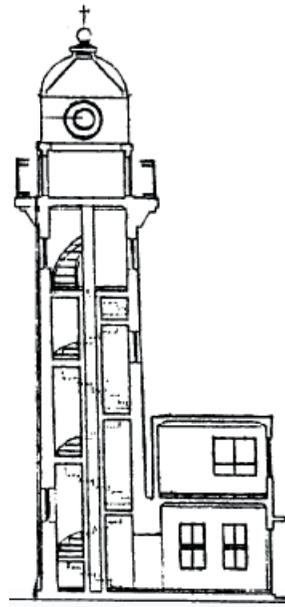
灯台の歴史を辿ってみたら
灯台の魅力にハマるかも(!?)



霧等で視界不良になったら助けてくれた過去の霧信号吹鳴器

灯台の大切な発光源を風雨から守っている灯ろう

「灯台の姿図」



断面図

【この灯台の概要】

位置	北緯 35度 15分 22秒 東経 139度 44分 43秒
塗色・構造	白色 塔形(コンクリート造) (灯台の色と造りのことです)
灯質	群せん白光 15秒に2回発光 (沖合の船舶から灯台を見た場合、 回転するレンズから放たれる光を15秒ごとに2回見ることができます)
光度	77,000カンデラ (「カンデラ」とは、光源の強さを表す単位です)
光達距離	19.0海里(約35キロメートルです。 1海里は1,852メートルです)
明弧	152度から17度まで (明弧とは光が見える範囲のことです)
高さ	灯台の基礎部から灯台の頂部まで 19メートル 平均水面上から灯火まで56メートル 地上から灯火まで15メートル
点灯年月日	明治2年1月1日

「灯台の歴史」

初代の観音埼灯台

横須賀製鉄所雇フランス人フランソワ・レオンス・ヴェルニーにより国内で初めての洋式灯台として四角形の洋館の上に灯塔を乗せた珍しい形で建設されました。建設には横須賀製鉄所で焼かれた約6万5千枚のレンガが使われました。灯塔の高さは地上から灯火まで12.12m、レンズはフランスのフレネル式3等不動レンズを備え、光源には清国(現在の中国)の落花生油を使用、その光は沖合約25kmまで届いたとされています。

大正11年4月

地震で倒壊し、コンクリート造りのスマートな灯台に生まれ変わりました。

大正12年9月

関東大震災で大きな損壊を受けました。

大正14年6月

再度建て替えられ、三代目の灯台として現在の姿になりました。

初代の観音埼灯台



灯台記念日って知っていますか?

灯台記念日は11月1日です。我が国初の洋式灯台である観音埼灯台の建設に着工した日が、旧暦の明治元年9月17日で新暦になおすと11月1日になることから、昭和23年、観音埼灯台点灯80周年記念式典をこの日に行い制定されたものです。